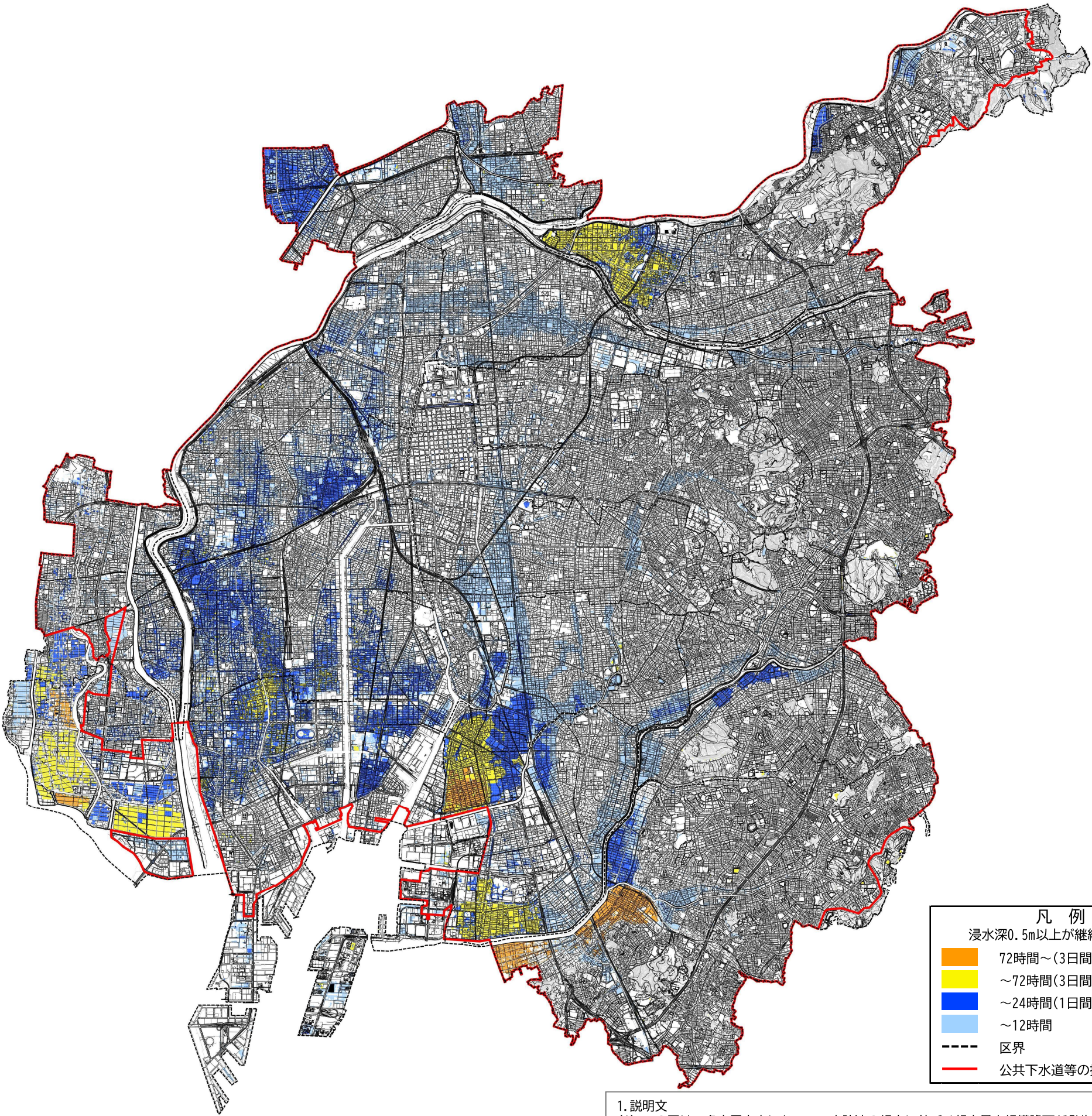
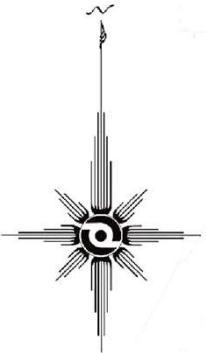


雨水出水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



凡 例	
浸水深0.5m以上が継続する時間	
	72時間～(3日間～)
	～72時間(3日間)
	～24時間(1日間)
	～12時間
	区界
	公共下水道等の排水区域

1. 説明文
- (1) この図は、名古屋市内において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に、0.5m以上の浸水が継続する時間を表した図面です。
- (2) この図は、令和2年度末時点の名古屋市内の下水道等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨（1時間雨量156mm、24時間総雨量836mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
- (3) この図において、水防法第14条の2第2項第3号及び第4号の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（赤枠）のうち0.5m以上の浸水が継続する区域（着色部）で示しています。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体：名古屋市
- (2) 指定年月日：令和4年6月1日
- (3) 告示番号：名古屋市告示第331号
- (4) 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項第3号及び第4号
- (5) 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間雨量156mm、24時間総雨量836mm）
- (6) その他計算条件等：雨水ポンプ・樋門については、排水先河川の水位が、氾濫の危険がある水位まで上昇した場合などにポンプ停止・樋門閉鎖を行う条件としています。
3. 備考
- シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫等を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水継続時間が発生する可能性があります。

0 1,000 2,000 4,000 m S=1/100,000(A3)